

九十九島賞争奪戦

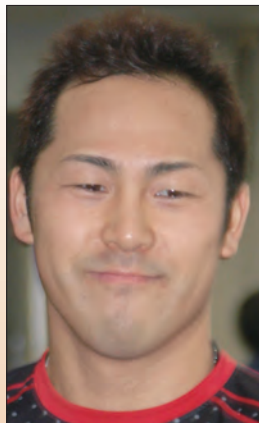
浅井 康太(三重・90期)



気迫十分!! V有力

今年の賞金獲得額が9位(11月4日現在)。岡田征陽(同10位)や佐藤友和(同11位)と賞金枠でのGP参戦を争っている浅井康太。しかし、本人は「勝負は競輪祭」と、戴冠レーサーとしてGP参戦を強く意識しており、賞金争いは「小さいこと」と言わんばかり。10月防府記念では、井上昌己の後ろで佐藤友和との外併走をこらえて優勝。踏みながら「早めに仕掛けた」という力強い競走内容が光った。2009年の共同通信社杯で決勝進出した相性の良い佐世保バンクで、今度は優勝を狙う。

岡田 征陽(東京・85期)



自信満々の走り!!

12月立川GPの出場権奪取に向けて、岡田征陽が猛スパート。10月千葉記念では池田勇人—平原康多の埼玉勢に付けて直線抜け出し、賞金争いを演じている佐藤友和も制して気迫の優勝。9月のオールスター競輪(京王閣)では「地元のオールスターが決まってから、そこに向けて仕上げてきました。やることは全てやってきたので、自信を持って走るだけ」と意気込んで②②⑧①と好走。その勢いと良い流れを持ち込む佐世保記念。佐世保の好走歴は残っていないが、今回は優勝の有力候補だ。

佐藤 友和(岩手・88期)



調子は問題無し!!

今年の賞金獲得額が11位(11月4日現在)。GP参戦を狙える位置をキープしている佐藤友和。モチベーションは高い。全国各地で練習しているが、現在は青森でトレーニングしているとか。近況は9月青森記念、10月防府記念、千葉記念と、記念競輪でコンスタントに決勝進出しており、「調子は問題ないと思います」という。「いつも通り勝つ競走をします」と、良い状態を維持しているようだ。佐世保記念は2008年に参戦して決勝進出。3連対率6割強の相性の良いバンクだ。

井上 昌己(長崎・86期)



復活!! 入魂の激走

平成23年に続く地元記念優勝を狙う井上昌己が元気だ。10月防府記念は、参戦前に「立ったフレームで追い込んだ練習をした」そう、腰痛のケアも万全で挑んだ。初日、二日と修正しながら、準決勝は向かい風ながら「良いタイムが出た」と井上本人がビックリするほどの良い状態に引き戻し、これが準優勝に繋がった。佐世保は記念優勝の他にも2009年の共同通信社杯と、2004年のふるたびでも決勝進出。ファンの期待に応えてきた。地元記念V2がハッキリと見えてきた。

63回目のドラマ!! ————— チャンスは4日間!!

優勝候補、直近、情報

中川 誠一郎(熊本・85期)



佐世保は好走歴!!

競技と本業を兼務しながら頑張っているが、現在はナショナルチームの活動に比重を置いているようだ。8月松戸記念で行われた一発勝負のワールドステージ(7着)のあと、脇本雄太らとドイツに遠征。その直後の9月オールスター競輪(京王閣)では、脇本が時差ぼけで苦戦したようだが、中川は「疲れとかは無い」と、2走目に同県の松川高大を目標に追い込んで快勝。佐世保はFIで優勝も有るし、2009年の共同通信社杯でも連対が有る。相性の良いバンクを言っているだろう。

神山 拓弥(栃木・91期)



充実!! 自力自在戦

7月豊橋記念競輪で決勝進出、10月川崎FIでは優勝。神山拓弥が好調だ。9月オールスター競輪(京王閣)では初戦でいきなり失格に泣いた。本人は真っ直ぐ走ったつもりだったが、押し上げで失格。しかし、オールスター競輪に向けて仕上げた成果が、10月川崎FI優勝で実を結んだ。決勝戦は捌いて中段を確保。最後は稲川翔のまくり飛び付いての差し切り優勝。「自力タイプが多いレースは器用なレースで対応したい」と、自力自在戦が身上の、神山らしい競走内容の優勝だった。

脇本 雄太(福井・94期)



まくり併用で好調

3・92のギアを投入して挑んだ昨年の佐世保記念。①④①で準決勝を突破した決勝戦は、木暮安由にまくられて5着。「課題は山積」の終戦だった。今年は競技と本業の兼務で状況が一変。9月オールスター競輪(京王閣)は、「ドイツ遠征の帰りで時差ボケがひどい」こともあって未勝利に終わった。しかし、その後は練習不足も解消してFI優勝2回、10月熊本記念で決勝進出と軌道修正。熊本の二次予選と準決勝は何と「まくり」連発で①②。佐世保記念は、「ニュー脇本」が見られそうだ。

村上 博幸(京都・86期)



勢いはピカ一!!

8月小田原記念準優勝、9月オールスター競輪(京王閣)決勝進出。村上博幸が勢いを取り戻してきた。「今年の前半は良くなかったけど、やっと調子に戻ってきた。変な疲れも残らないし、脚に余裕が有る」という。そして、「オールスターは結果はダメだったけど、力を出し切れたので良かったと思います」と、確かな手ごたえを掴んだようだ。佐世保は2006年と2011年の記念を走って優出無し。2013年のFIでも決勝4着と相性は今イチだが、今回は今までの「倍返し」を狙っている。

佐世保バンク攻略

今年9月7日～11月末に休催して走路を塗り替えた。塗り始めは走路にくっつく感じで重いのが選手感覚。走路関係のデータは、以前と変わっていない。

「みなし直線」距離の短さは、全国の400バンクの中で屈指だ。40.2m。3・3バンク並みの長さであり、自力型が粘れるのが佐世保バンクの大きな特徴だ。決め手別のデータを見ると一目瞭然で、自力型とマーク選手の「並び車券」が全体の半分以上を占めている。ただ、バック先制率の少ない遅めのまくりタイプは、3～4角で失速して不発になるケースが見られる。追い込み型の場合も、直線が短いために、最終4角で後方に置かれた場合、頭に突き抜けてくるケースは少ない。

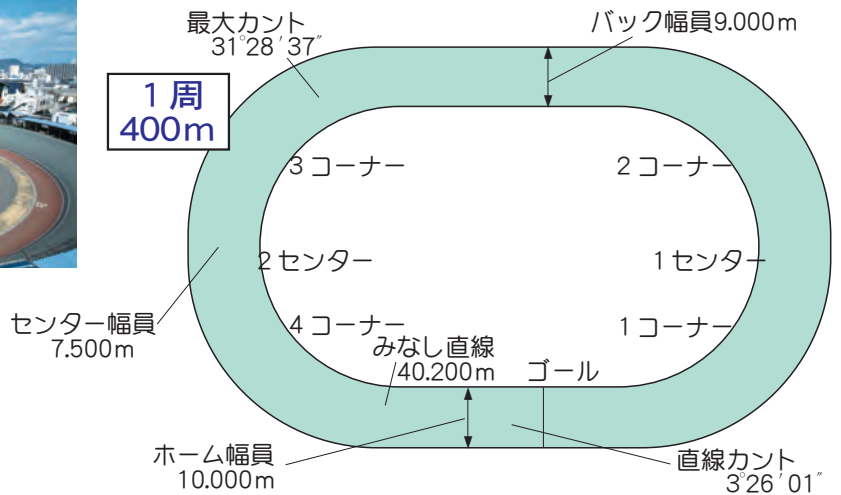


佐世保競輪決め手別1、2着		
逃	げ	マーク(111回)
差	し	逃(106回)
まくり	マーク	(88回)
差	し	まくり(60回)
まくり	差	し(55回)
差	し	差(48回)
差	し	マーク(45回)
逃	げ	差(42回)
まくり	逃	げ(26回)
その他		(38回)

(2012年10月～2013年9月6日)

2車単出目上位		
15	29回	52 20回
35	29回	53 19回
72	25回	27 18回
17	24回	37 18回
51	24回	73 18回
71	23回	41 17回

(2012年10月～2013年9月6日)



好調!! この選手を狙え

9月オールスター競輪(京王閣)の初日特選で快勝。本人がビックリする程の伸び脚だった。長期計画で鍛え直す宣言をして、漸く猛練習の成果が出てきた印象。10月玉野Fと名古屋Fで決勝の3連単に取り戻してきた。佐世保は、全盛期を迎える直前の2002年に記念競輪で①②③⑦の実績がある。相性の良いバンクで、今度は優勝を狙う。



佐藤慎太郎

10月弥彦Fで豪快なまくりを決めて優勝。菊地圭尚が勢いを取り戻してきた。「競走に迷いが有ったけど、弥彦の優勝で吹っ切れた感じ」とか。追い込み兼備で結果を出せない状態が続いたが、攻めの走りに活路を切り開いたようだ。賞金獲得額は29位(11月4日現在)。来年3月の日本選手権競輪(名古屋)での特選シード権獲得に向けて、佐世保記念も入魂の走りが期待できる。



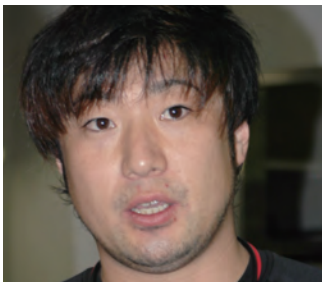
菊地圭尚

10月グリーンドーム前で予選を①②で勝ちあがり、存在感をアピール。自力自在戦が充実期を迎えた。オールスターの直前に8月小田原記念で決勝進出するなど、「早い段階で良い状態に戻すことができた」のが大きい。4・50の大ギアも「普通に踏めている」というのも、好調の証か。2011年に決勝進出の実績がある佐世保記念。「今まで通り何でもやる競走」で優勝を狙う。



矢口啓一郎

9月オールスター競輪で優勝するなど最高のスタートダッシュに成功した。近況も10月大垣Fで優勝するなど好調。「地元Fでも優勝して、状態はずっと良いです。これ勢いに乗っていきたい」と気を引き締めた。今年の獲得賞金は27位(11月4日現在)。来年3月名古屋で開催される日本選手権競輪の特選シード権(27人)獲得に向けて、年末まで気を抜けない戦いは続く。



桐山敬太郎

今年は、1月京王閣記念で優勝するなど最高のスタートダッシュに成功した。近況も10月大垣Fで優勝するなど好調。「地元Fでも優勝して、状態はずっと良いです。これ勢いに乗っていきたい」と気を引き締めた。今年の獲得賞金は27位(11月4日現在)。来年3月名古屋で開催される日本選手権競輪の特選シード権(27人)獲得に向けて、年末まで気を抜けない戦いは続く。



志智俊夫

10月名古屋で2年ぶりのS級優勝。「強い山田英明」が戻ってきた。ギアを上げての一発勝負が填ったようだが、「前々で戦ったつもりだった。予想通りの展開」という作戦面の勝利でもあった。これからは「Gとか、もっと上で戦えるように、もっと強くなるように頑張っていく」と、今後の意気込みを披露。地元地区の佐世保記念は気合い満点。優勝まで視界に入ってきた。



山田英明

出場予定選手 (データは10月24日現在)

級	整理番号	選手名	年齢	府県	期別	決め手	直近4ヶ月競走得点	級	整理番号	選手名	年齢	府県	期別	決め手	直近4ヶ月競走得点
S	S	岡田 征陽	33	東京	85	自在	117.17	S	52	井手 健	40	長崎	79	差脚	96.68
	2	佐藤 友和	30	岩手	88	自在	115.93		53	根本 雄紀	36	茨城	80	差脚	99.75
	3	浅井 康太	29	三重	90	自在	115.12		54	吉村 和之	36	岐阜	80	差捲	104.35
S	4	星島 太	42	岡山	66	差脚	107.08		55	吉川 浩士	38	大阪	80	差脚	92.64
	5	志智 俊夫	41	岐阜	70	差脚	110.94		56	三槻 智清	36	佐賀	80	自在	97.86
	6	大藺 宏	39	茨城	71	差脚	105.76		57	足達 重満	38	長崎	80	差脚	92.25
	7	岩見 潤	40	三重	71	差脚	104.66		58	関 一浩	36	茨城	81	差脚	105.66
	8	坂上 忠克	40	石川	71	差脚	105.16		59	市川 健太	38	東京	82	逃捲	0.00
	9	前田 拓也	39	大阪	71	差脚	104.43		60	野村 純宏	37	神奈	82	差脚	95.42
	10	中井 達郎	39	静岡	74	差脚	100.60		61	宮越 孝治	34	富山	82	逃捲	104.21
	11	小野 俊之	37	大分	77	差脚	109.33		62	田村 浩章	37	徳島	82	差脚	94.45
	12	佐藤慎太郎	37	福島	78	差脚	114.07		63	谷津田将吾	33	福島	83	差脚	100.92
	13	諸橋 愛	36	新潟	79	差脚	109.25		64	小島 雅章	38	埼玉	83	逃捲	98.00
	14	佐々木則幸	37	高知	79	差捲	110.80		65	小佐野文秀	37	山梨	83	自在	0.00
	15	野田 源一	35	福岡	81	自在	104.66		66	高田 真幸	36	福岡	83	自在	93.36
	16	伊勢崎彰大	35	千葉	81	差捲	104.90		67	小橋 秀幸	34	青森	85	自在	99.11
	17	山口 貴弘	35	栃木	84	差脚	105.36		68	真崎新太郎	35	栃木	85	差脚	104.50
	18	渡部 哲男	34	愛媛	84	逃捲	104.25		69	井上 剛	34	岡山	85	差脚	99.13
	19	中川誠一郎	34	熊本	85	自在	109.85		70	吉田 健市	36	愛知	87	差脚	99.33
	20	矢口啓一郎	33	群馬	86	逃捲	108.50		71	藤原 浩	34	高知	87	差脚	92.88
	21	村上 博幸	34	京都	86	差捲	115.23		72	松尾 大樹	33	長崎	87	差脚	92.33
	22	湊 聖二	37	徳島	86	逃捲	108.83		73	安東 英博	33	大分	87	差脚	92.00
	23	井上 昌己	34	長崎	86	逃捲	110.50		74	鷲田 佳史	30	福井	88	逃捲	93.43
	24	桐山敬太郎	31	神奈	88	自在	110.93		75	上田 国広	30	三重	89	差脚	97.12
	25	永井 清史	30	岐阜	88	逃捲	101.50		76	近藤 隆司	29	千葉	90	逃捲	102.40
	26	菊地 圭尚	33	北海	89	自在	108.42		77	菊谷 信一	28	大阪	90	逃捲	93.38
	27	内藤 秀久	31	神奈	89	差脚	109.64		78	山中 貴雄	30	高知	90	逃捲	95.20
	28	山田 英明	30	佐賀	89	逃捲	109.91		79	嶋貫 高大	32	宮城	91	差脚	95.00
	29	飯野 祐太	29	福島	90	自在	102.50		80	高橋 紀史	27	秋田	91	逃差	90.78
	30	神山 拓弥	26	栃木	91	自在	109.50		81	高橋 和也	27	愛知	91	逃捲	101.50
	31	藤田 大輔	29	千葉	91	逃捲	102.47		82	佐藤 幸治	28	長崎	92	逃捲	97.83
	32	馬場 勇	31	熊本	92	逃捲	103.00		83	片折 亮太	26	埼玉	92	逃捲	98.26
	33	岡 光良	31	埼玉	94	差脚	100.66		84	戸田 洋平	30	岡山	92	差脚	98.00
	34	脇本 雄太	24	福井	94	逃捲	111.92		85	一ノ瀬 匠	25	佐賀	92	逃脚	98.18
	35	山中 秀将	27	千葉	95	逃捲	105.57		86	上垣 光永	31	京都	93	逃捲	90.60
	36	井上 嵩	24	東京	97	逃捲	101.64		87	豊岡 哲生	27	東京	93	差脚	97.55
S	37	杉浦 康一	48	北海	58	差脚	98.60		88	鈴木雄一朗	29	東京	94	逃捲	94.66
	38	黒木 誠一	46	兵庫	60	自在	100.80		89	芦澤 辰弘	25	茨城	95	逃捲	107.37
	39	藤田 和彦	43	神奈	63	差脚	97.68		90	矢口 大樹	25	千葉	95	逃捲	99.50
	40	有坂 直樹	44	秋田	64	差脚	103.23		91	小原 太樹	25	神奈	95	逃捲	97.77
	41	市野 茂	47	愛知	64	差脚	96.12		92	河端 朋之	28	岡山	95	逃捲	101.21
	43	山根 泰道	44	岡山	64	差脚	91.40		93	東 龍之介	23	神奈	96	逃捲	106.53
	44	近藤 修康	42	岡山	67	差脚	0.00		94	小川 祐司	31	愛媛	96	逃捲	103.53
	45	萩谷 直正	43	神奈	69	差脚	91.85		95	工藤 文彦	31	岡山	97	逃捲	94.11
	46	阪本 正和	43	長崎	70	差脚	104.16		96	柳詰 正宏	26	福岡	97	自在	0.00
	47	小林 潤二	41	群馬	75	差脚	96.33		97	箱田 優樹	23	青森	98	逃捲	106.33
	48	深澤 伸介	37	静岡	76	差脚	100.73		98	角 令央奈	26	兵庫	98	逃捲	100.90
	49	米嶋 賢二	39	長崎	77	逃捲	92.72		99	泉 利和	26	大阪	98	逃捲	96.53
	50	竹田 和幸	37	岐阜	78	差捲	100.66		100	阿部 力也	25	宮城	100	逃捲	105.66
	51	田島 高志	36	三重	79	差脚	95.86								